

ありのままをお伝えする季刊誌

2015

SUZUCHU VOL.41

NOW

春

- 発行日 2015年4月1日
- 発行 鈴鹿中央総合病院
- 編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
- 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
- TEL 059-382-1311
- URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
- 編集協力 TCK名古屋

【道】

…その先にあるもの

病院長交代のご挨拶

■Salon de news

- 慰霊式を行いました
- 第6回がん市民公開講座を開催しました
- 病院祭開催のお知らせ
- 第7回がん市民公開講座を開催します

■教えてQ&A

おなら

■院内【知っ得!辞典】

専門・認定看護師の紹介

■誌面でクッキング

そら豆とえびの卵炒め



道

病院長交代のご挨拶

…その先にあるもの



名誉院長 濱田 正行

Masayuki Hamada

病院長退任のご挨拶

私こと、この度3月31日を以て病院長を退任致すことになりました。20年余の在任中、鈴鹿市、鈴鹿市医師会をはじめ地域の皆様には大所高所からご指導・ご支援を賜り大過なく職責を全うできましたことを衷心より御礼申し上げます。顧みますと、平成5年に鈴鹿市から多大のご援助を頂き当地に新築移転、市民病院の役割を果たす地域基幹病院としてスタートを切りました。平成6年10月から院長を任せられ、市民の健康維持管理、病院運営に職員とともに全力投球してきました。就任時、前院長から「建物はできた、これか

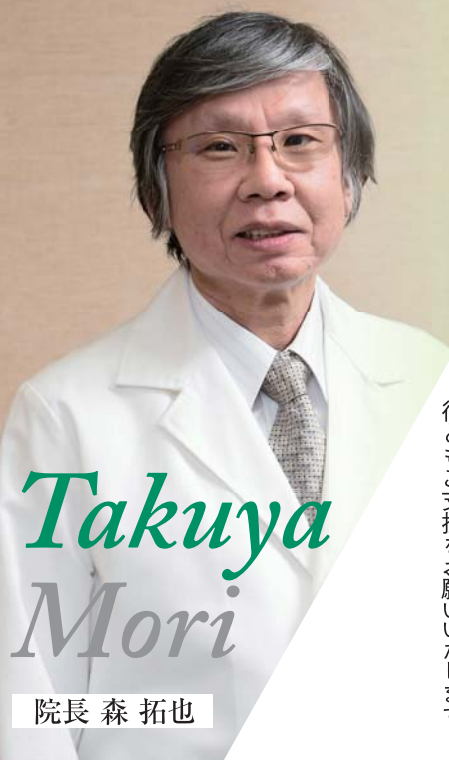
らの中身の仕上げは君に任せ」と言われ、院長の初仕事として取り組んだのが厚生省指定の研修病院資格の取得でした(平成7年4月に研修病院の指定)。これを機に若い医師が沢山集まる病院として、県内外の認知度が高まったと思います。その後、全職員参加の接遇研修、病院機能評価認定など

新しい風が吹きました。これからも皆様の病院として育て、利用していただきたく存じます。



院長就任のご挨拶

平成27年4月1日より鈴鹿中央総合病院院長を拝名いたしました。平成19年4月に当院に着任以来、内科循環器科の診療に携わってきました。また、診療部長、副院長として濱田正行前院長の下、地域とのかかわり、病診連携、病院運営等について経験させていただきました。当院は災害拠



Takuya Mori

院長 森 拓也

点病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として三重県の医療を支える急性期病院としての役割を担ってきました。また病院機能評価認定を三重県内では早く受け、たえず病院の向上に努めてきました。今後も発展を止めることなく、最良の医療を届けたいと思います。人材を確保し、安全で安定した医療を提供し、医療に携わるすべての職種がチームとして機能することが大切です。また、高い目標を持ち、希望の持てる病院づくりのため努力したいと思えます。地域の信頼される病院としてさらに成長していくために、今後ともご支援をお願いいたします。



SUZUCHU 外来診療担当表

※裏面の外来のご案内もご覧ください

(27年4月1日現在)

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科	1診 新患	(循) 大村 崇	(血・腫) 永春圭規	(循) 太田覚史	(循) 小西克尚	(循) 北村哲也
	2診 新患	(消) 向 克巳	(胆・膵) 松崎晋平	(消) 齊藤知規	(血・腫) 伊藤竜吾	(消) 佐瀬友博
	3診 新患			(腎) 高木幹郎		(消・肝) 岡野 宏
	予約	(緩和) 川上恵基	(血・腫) 川上恵基		(血・腫) 川上恵基	
	4診 予約	(肝) 西村 晃	(肝) 西村 晃	(肝) 西村 晃	(消) 松崎晋平	(肝) 西村 晃
	5診 予約	(循) 北村哲也	(消) 佐瀬友博	(循) 北村哲也	(循) 濱田正行	(循) 濱田正行
	6診 予約	(消・肝) 岡野 宏	(消) 向 克巳	(消) 向 克巳	(消) 齊藤知規	(腎) 高木幹郎
	7診 予約	(循) 森 拓也	(血・腫) 伊藤竜吾	(循) 大村 崇	(循) 太田覚史	(循) 小西克尚
	8診 予約	(呼・循) 山本伸仁	(呼・循) 山本伸仁	(血・腫) 永春圭規	(呼・循) 山本伸仁	(循) 森 拓也
	9診 予約	(腎) 玉田香介 (新患・午前)	(消) 午前・熊澤広朗 (腎) 午後・玉田香介	(血・腫) 午前・山口貴則 (循) 午後・山内良太	(消) 午前・栃尾智正 (消) 午後・菅大典	(腫) 午前・水野聡朗 (循) 午後・渡邊清孝
10診 予約	消化器(新患)	(消) 田中宏樹	消化器(新患)	(消) 磯野功明	(消) 松崎晋平	
眼科	1診	(初診) 有馬美香	有馬美香		(初診) 有馬美香	有馬美香
	2診	宮田良平	(初診) 宮田良平		宮田良平	(初診) 宮田良平
	3診	湯浅 湖	湯浅 湖	(初診) 湯浅 湖	湯浅 湖	湯浅 湖
	午後	手術	予約検査	予約検査	手術	予約検査
小児科	1診	藤原 卓	西 英明	西 英明	西 英明	藤原 卓
	2診		(腎) 下野吉樹	藤原 卓	(腎) 下野吉樹	
	3診 特殊外来				第1・3・5中野千鶴子	篠木敏彦(第2週のみ)
	午後	検査(予約制)	予防接種(予約制)	乳児健診1~4M		乳児健診7M~
耳鼻咽喉科	1診 予約	鈴木慎也	新患のみ	藤田祐一	藤田祐一	鈴木慎也
	2診	藤田祐一		鈴木慎也	鈴木慎也	藤田祐一
呼吸器センター (内科・外科)	1診 午前(予約)	(呼内) 小林裕康	(呼外) 渡邊拓弥	(呼外) 川野理		(呼内) 小林裕康
	午後(予約)		(呼内) 大西真裕			(呼外) 川野 理
	2診 新患	(呼内) 藤本 源	(呼外) 深井一郎	(呼外) 深井一郎	(呼内) 小林裕康	(呼外) 深井一郎
心臓血管外科					金光真治	
					呼吸器外科手術日	
外科	1診 新患	田岡大樹	大倉康生	金兒博司	金兒博司	田岡大樹
	2診 予約	金兒博司	田岡大樹	大倉康生	大倉康生	大森隆夫
	3診	藤永和寿	野口大介	草深智樹	大森隆夫	藤永和寿
整形外科 8:30~11:30 ※新患のみ11時まで	1診再診(予約)	池村重人	山田浩之	長尾信人	山田浩之	池村重人
	2診再診(予約)	浦和真佐夫	長尾信人	稲田 均(リウマチ)	稲田 均(一般)	稲田 均(リウマチ・一般)
	3診 新患	山田浩之	池村重人	浦和真佐夫	森川正和	長尾信人
	4診 新患	森川正和		森川正和	浦和真佐夫	
脳神経外科	1診	川口健司	手術	川口健司(再診予約)	手術	川口健司
	2診	金丸英樹	森川篤憲	田中克浩(再診予約)	手術	田中克浩
神経内科	1診 新患	伊藤伸朗	高島慎吾	牧 聡樹	伊藤伸朗	牧 聡樹
	2診	(午前新患) 高島慎吾	牧 聡樹	伊藤伸朗	平田佳寛	高島慎吾
	3診				第1・3週 葛原茂樹	
皮膚科 8:30~10:30	1診	川端栄理子	大学医	休診	川端栄理子	休診
精神科	1診(完全予約制)			(予約) 川喜田昌彦		(予約) 川喜田昌彦
産婦人科	1診(一般初診)	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二
	2診(妊婦12w以降) 完全予約制	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦
泌尿器科	1診 新患	鈴木竜一(8:30~11:00)	荒木富雄	担当医(8:30~10:30)	西井正彦	長谷川万里子(代務医)
	2診 予約再来	西井正彦	鈴木竜一	(予約のみ) 荒木富雄	鈴木竜一	荒木富雄
麻酔科	1診 完全予約	(再診予約) 橋本 宇	(初診予約) 橋本 宇		(再診予約) 橋本 宇	(再診予約) 橋本 宇
放射線治療	1診 完全予約	(予約) 村田るみ	(予約) 村田 健	(予約) 村田るみ		(予約) 村田るみ
病理診断科	完全予約	(予約) 村田哲也	(予約) 村田哲也	(予約) 村田哲也	(予約) 村田哲也	(予約) 村田哲也
健診センター		濱田正行	西村・川原田	西村・川原田	西村・川原田	第1・3週 西村 第2・4・5週 川原田
		西村 晃		(脳ドック) 森川篤憲		(脳ドック) 森川篤憲

特殊外来

ご予約は各科外来へお願いします
TEL 059-382-1311(代)

眼科

レーザー治療 火・水・金曜日午後要予約
斜視・弱視外来 火・水・金曜日午後要予約
(但し、初診は予約不可のため
外来診療受付時間内に来院してください)
予約時間は検査開始時間になります

小児科

水・金曜日 午後 乳児健診(要予約)
第1・3・5木曜日 午後 発達神経外来(要予約)
火曜日 午後 予防接種(要予約)
水曜日 午後 肥満・成長ホルモン外来(要予約)
第2金曜日 午後 小児リウマチ膠原病外来(要予約)

耳鼻咽喉科

FNA検査 木曜日 午後(要予約)

外科

ストーマ外来 水・木曜日14:00~(要予約)
乳腺外来 月曜日14:00~(要予約)

整形外科

リウマチ科 水・金曜日(要予約)
受付時間 8:30~11:30※新患のみ11時まで
診察予約電話受付時間:12:00~16:00

脳神経外科

紹介患者 月・金曜(要予約)
頭痛外来 火・木曜日
13:00~16:00(要予約)

神経内科

特殊外来 第1・3木曜日午後(完全予約制)
物忘れ外来 第1・3・5木曜日14:00~16:00要予約

皮膚科

受付時間 8:30~10:30
入院・手術不可

精神科

水・金曜日 完全予約制(要予約)

産婦人科

妊婦健診 月~金曜日完全予約制(要予約)
妊婦健診第2木曜日休診
助産師外来 月~金曜日(要予約)

麻酔科

ペインクリニック 月・火・木・金曜日
完全予約制(要予約)

放射線診療

CT・MRI・RI・放射線治療・MMG(要予約)

病理診断科

完全予約制

健診センター「オリーブ」

人間ドック・脳ドック・肺がんドック
月・火・水・木・金曜日(予約制)
*健診センターにて受付致します。
TEL:059-384-1017

内科よりお願い

◇内科(山本医師)への紹介は火曜日をお願いします。
◇腎臓内科(高木医師)への紹介は水曜日をお願いします。
◇消化器内科への紹介は月・火・水・金曜日(新患)をお願いします。なお、(胆・膵)への紹介は火曜日(松崎医師)をお願いします。
◇循環器内科への紹介は月・水・木・金曜日(新患)をお願いします。

小児科よりお願い

◇腎・尿路系疾患の紹介は火・木(下野医師)をお願いします。
◇患者さまをご紹介いただきます折は、小児科外来に事前にご連絡ください。

今号は「感染対策チーム(ICT)」
をご紹介します。

病院の中には、微生物に対する抵抗力が弱い患者さまが多く入院していますし、感染症にかかっている患者さまも入院しています。いろいろな種類の微生物がいる可能性があり、感染症が起りやすい場所です。

病院内では、感染しやすい患者さまに感染をうつさないこと(感染を防ぐ)、そして病院に訪れる方々が微生物をもっていないようにする(感染を拡大させない)ことが重要です。

当院では、感染対策に関する専門的な知識と経験を有する医師(ICD:感染制御医師)をはじめ、臨床検査技師・薬剤師(感染制御認定薬剤師)・感染管理認定看護師

など多職種で感染対策チーム(ICT)を組み、感染から患者さまや職員を守る活動に取り組んでいます。



主な取り組みは、病院感染(院内感染)の発生状況の把握と院内ラウンドです。抗菌薬が効かないような菌(耐性菌)が検出されている病棟をラウンドし、患者さまの病状や抗菌薬の使用状況、感染対策の実施状況をチェックし、必要に応じてアドバイスしています。また、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が院内に広まることのないよう、各現場で適切な感

染対策が行われているか、患者さまの療養環境が整備されているかなど、現状チェックをしています。

また、感染対策に関する研修・啓発も行っています。全職員に対し研修会を行うほか、定期的に感染対策マニュアルを整備し、ICT NEWS を発行するなど感染対策に対する啓発活動を行っています。

2012年からは、他施設・地域医療との連携を図っており、感染制御連携医療施設と連携し、定期的にカンファレンスや施設訪問等を通じて相互チェックを行い、地域全体で感染対策に取り組んでいます。今後も、当院に来られるすべての方々に安心して来院していただけるよう、院内の感染防止対策に取り組んでいきたいと考えています。

各種サービスをご活用ください

母親教室

- 前期(妊娠4~5ヶ月) ●毎月1回/4月20日・5月18日・6月15日
- 後期(妊娠8ヶ月の終わり) ●毎月1回/4月27日・5月25日・6月22日
- 場所:どちらも2階講義室 午後1時より3時まで
- 乳房マッサージについても受け付けております。
- ※詳しくは産婦人科外来 TEL 059-384-1024まで

募集しています

看護職員募集

看護師さん・助産師さんを募集しています。「病院見学」および「職場復帰支援研修」を随時行っています。お気軽にお問い合わせください。
担当:看護部豊田 TEL 059-382-1311(代)

外来のご案内

◆診療受付時間/午前8:30~11:30

(皮膚科午前8:30~10:30迄)

(整形外科新患のみ午前8:30~11:00迄)

※再来受付機のご利用は

午前7:50~11:30まで

◆休診日/土曜・日曜・祝日

年末年始(12月30日~1月3日)

※救急の場合は休診日や診療時間帯に関わらず対応いたします。

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、必ず保険証とあわせて新患受付にお出ください。

◆患者さんへのご案内

- 診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。
- 毎月1回、保険証の確認を行っており

ます。3ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。保険証に変更がある場合は必ず受付までお申し出ください。

- 受診の際、お車でお越しの方は駐車整理券を会計後お出しいただき、駐車料金無料の磁気処理をお受けください。

◆紹介状をお持ちの方

- 紹介患者さん専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。係の者がご案内させていただきます。

◆初診時の保険外併用療養費について

- 初診で紹介状をお持ちでない場合は、保険外併用療養費2,160円をいただきます。紹介状をお持ちいただければ保険外併用療養費の2,160円は不要となります。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され、選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊厳重視と、公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と、患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示と、セカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進

地域医療支援病院
がん診療連携拠点病院 三重厚生連
鈴鹿中央総合病院

TEL (059) 382-1311

地域連携NOW!!



INFORMATION

鈴鹿中央総合病院／2階講義室にて

研修会を行います。

本研修会は、地域の医療従事者を対象に新しい医療のあり方や見識を高めるため、毎月定期的に勉強会を行い地域医療技術向上を目的としています。

お問合せ先 地域連携室 TEL.059-384-1057 (直通)

学術講演会

日時 平成27年4月23日(木曜日) ●18:15~19:30

演題 「GERD 難治例に対する新しい治療提案(仮)」

講師：ハッピー胃腸クリニック
院長／豊田英樹 先生

日時 平成27年5月28日(木曜日) ●18:15~19:30

演題 「認知症の早期診断
：とくにレビー小体型認知症を中心に」

講師：三重大学大学院 神経病態内科学
教授／富本秀和 先生

日時 平成27年6月25日(木曜日) ●18:15~19:30

演題 「新規抗てんかん薬について(仮)」

講師：岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
臨床教授／矢野大仁 先生

鈴鹿肝胆膵画像研究会

日時 平成27年5月21日(木曜日) ●18:30~

ミニレクチャー 症例検討



呼吸器疾患相談会 ●19:00~

演題 「持ち寄り症例の相談会」

平成27年
4月9日
(木曜日)

平成27年
5月14日
(木曜日)

平成27年
6月11日
(木曜日)

BCT ●午前7:00~8:00

BCT: Basic Clinical Teaching

※事情により予定変更する場合があります

日時 平成27年4月8日(水曜日)

演題 「BLS」

演者：内科・麻酔科医師／富田正樹・塩崎裕紀・山内良太

日時 平成27年4月15日(水曜日)

演題 「ACLS」

演者：内科・麻酔科医師／富田正樹・山内良太・塩崎裕紀

日時 平成27年4月22日(水曜日)

演題 「肺炎」

演者：内科医師／山内良太

日時 平成27年5月20日(水曜日)

演題 「神経所見の取り方」

演者：神経内科医師／伊藤伸朗

日時 平成27年6月3日(水曜日)

演題 「救急画像診断」

演者：放射線科医師／松島信佳

日時 平成27年6月17日(水曜日)

演題 「消化管出血」

演者：内科医師／齋藤知規

RCC ●午前7:00~8:00

RCC: Resident Case Conference

※事情により予定変更する場合があります

演題 「臨床研修医の経験症例発表」

平成27年
5月13日
(水曜日)

平成27年
5月27日
(水曜日)

平成27年
6月10日
(水曜日)

平成27年
6月24日
(水曜日)

ご近所のお医者さま

当院の登録医院を毎回5機関ずつ紹介しております。

さかえ整形外科



院長
名越 豊

◆診療科

- 整形外科●リウマチ科
- リハビリテーション科

◆特色

整形外科専門医、リウマチ専門医として地域に密着した親切・丁寧な診療を目指しています。

●休診日

水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

●診療時間

9:00~12:00 15:00~18:00

●所在地

〒519-0111 亀山市栄町1488-17

●電話 0595-97-3335

fax 0595-97-3336

くまざわクリニック



往診可

医師名
熊澤 祐一

<http://drkuma.ptu.jp/>

◆診療科

- 内科●消化器内科●整形外科

◆特色

東庄内町にて地域のかかりつけ医を目指し、内科は消化器内科（腹部エコー、経鼻胃カメラあり）を中心にかぜからメタボまで幅広く診療しております。健康診断、健康相談、往診等もご相談ください。整形外科は毎週木曜日午前からのみの診療となりますが、腰痛・肩こりから、けが等の診療をさせていただきます。

●休診日

土曜午後・日曜・祝日

●診療時間

内科) 9:00~12:00 15:00~18:30
木曜日 9:00~12:00 14:00~17:00
土曜日 9:00~12:00
整形外科) 木曜日 9:00~12:00

●所在地

〒519-0272 鈴鹿市東庄内町3882

●電話 059-371-6990

fax 059-371-6991

もとはし歯科



医師名
元橋 庸好

<http://www.mizuguchi-naika.com/>

◆診療科

- 一般歯科

◆特色

生涯自分の歯で咬み続けることを目標にしています。また、歯を失った方は義歯等で咬合（咬みあわせ）を失わないことを目標にしています。

●休診日

木曜・日曜・祝日

●診療時間

9:30~12:00 14:00~19:00

●所在地

〒513-0836 鈴鹿市国府町貝下1540-3

●電話 059-370-0105

fax 059-370-0105

水口内科クリニック



往診可

医師名
水口 正人

<http://www.mizuguchi-naika.com/>

◆診療科

- 内科●循環器内科

◆特色

狭心症や不整脈等の循環器を中心として、高血圧、糖尿病、高脂血症や高尿酸血症等の生活習慣病のみならず、呼吸器感染症等の急性期疾患まで内科全般にも幅広く対応しております。また、院内はバリアフリーとなっており、車椅子ご使用の方にも安心してご利用いただけます。採血：血球計算、CRP（炎症指標）、BNP（心不全指標）は15分以内で結果が出ます。生理検査：多機能心電図、足首/上腕血圧比（ABI）、脈波速度、ホルター型心電図、超音波（エコー）、スパイロメーター

●休診日

木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

●診療時間

9:00~12:30 15:00~18:30

●所在地

〒510-0232 鈴鹿市北江島町15-21

●電話 059-387-0851

fax 059-389-7850

鈴鹿メンタルクリニック



医師名
浜中 健二

<http://www.suzumen.com/>

◆診療科

- 精神科

◆特色

精神科疾患に対して的確な診断と治療を心がけています。落ち着いた雰囲気の中でゆっくりお話し下さい。

●休診日

月曜日・木曜日 日曜・祝日

●診療時間

8:00~12:00 16:00~19:00 (火)
8:00~12:00 15:00~18:00 (水・金)
8:00~12:00 (土)

●所在地

〒513-0036 鈴鹿市矢橋1丁目4-12

●電話 059-381-7771

fax 059-381-7772

SALON DE NEWS

鈴木ニュース

Coffee Break



第6回がん市民公開講座を 開催しました

2月28日(土)に平成26年度「第6回がん市民公開講座」を鈴鹿市文化会館げやきホールにて開催致しました。今回の講演テーマは「消化器のがんに対する内視鏡治療の現状と当院の取り組み」との事で約120名の市民の方にご来場いただき熱心に傾聴いただきました。質疑応答も盛んに行われ有意義な講座となりました。今後も「がん」をテーマに掲げた市

第7回がん市民公開講座を 開催します

6月14日(日)13時から平成27年度「第7回がん市民公開講座」を鈴鹿市文化会館げやきホールにて開催します。こうした市民講座は、拠点病院が担う重要な役割の一つとして、年度毎に「がん」をテーマに掲げた市民公開講座を開催しております。皆さまお誘い合わせの上ご来場ください。(詳細については後日お知らせ致します)

慰霊式を行いました

2月18日(水)解剖体慰霊式を当院にて病理解剖にご協力いただいた方々のご遺族並びに関係職員等が出席し、しめやかに執り行われました。浜田院長の挨拶の後全員での黙祷を捧げ、解剖にご協力くださった方々の御尊名を村田副院長が拝誦致しました。ご遺族に感謝とともに、解剖による医療技術向上への深いご理解をいただいた事に対しあらためて誌面を通じてお礼申し上げます。



民講座を開催し地域の方々にも情報提供する事で「がん診療連携拠点病院」としての役割を果たして行きます。

病院祭開催のお知らせ

5月23日(土)に病院祭及び看護学校祭を開催する予定です。恒例の白子高校吹奏楽部による演奏会、職員によるバザー等で患者さまや地域の皆さまとの交流の場となればと考えております。お誘い合わせのうえご来場ください。(詳細については後日お知らせ致します)



教えて Q&A

〈消化器内科医長 佐瀬 友博〉

おなら

誰にも聞けないからだの悩みといえば、「おなら」の悩みではないでしょうか?今回は、そんな「おなら」にスポットをあてたQ&Aをお送りします。

Q 便秘症で昔からよくおならが出て本気で悩んでいます。改善する方法があれば教えてください?

A 大人は1日1〜1.5Lのおならが出ますし、ため込むほうが有害なのでよく出るのは悪いことではありません。おならの主成分は飲み込んだ空気なので、人前で気になるようであれば早喰いしないように気をつけましょう。豆やいも類は食べすぎると腸内で発酵して二酸化炭素や水蒸気を出すためガスの量も増えてしまします。炭水化物や肉、卵類は腐敗型ガスが発生しやすいため、臭いがきつければ控えるほうがよいでしょう。

Q 臭くないのですが頻繁におならが出ます。何か病気が隠れているの?

A おならの量や回数が多いことは食生活や体質によるところが大きいですが、頻りにおならが出る場合は、腸炎や憩室炎では臭いのきついおならが出たり、大腸癌では出血した血液の腐敗臭がすることがあります。

Q もし受診するとしたら何科にかかったらいいの?

A 消化器内科に受診して相談してください。食事指導や内服治療(整腸剤やガス消し剤など)を行います。また腸の病気がないか確認するためレントゲン検査や大腸内視鏡検査をお勧めいたします。

A おならの量や回数が多いことは食生活や体質によるところが大きいですが、頻りにおならが出る場合は、腸炎や憩室炎では臭いのきついおならが出たり、大腸癌では出血した血液の腐敗臭がすることがあります。

質問募集

教えてQ&Aでは皆さんの質問を募集しています。病院の事、家族の病気の事など、広報委員会「教えてQ&A係」までお寄せください。TEL 0513-86300 鈴鹿市安塚町字山之花1-275番地のQ&A係 鈴鹿中央総合病院 広報委員会「教えてQ&A係」

院内 知っ得! 辞典



専門・認定看護師の紹介

集中ケア認定看護師

当院では、ICU・CCUにおいて集中治療が行われていた患者は、集中治療を受ける患者さまの状態は、刻一刻と変化するため、集中治療に携わる看護師には、全身状態の変化を的確にアセスメントし、安全に治療を提供することが求められます。また、患者さまは、身体的な苦痛だけでなく、疾患や治療に対する不安、環境の変化や様々な制限に伴うストレスなども抱えています。そのため、患者さまの苦痛は何か、どのような不安を抱えているのかなど、患者さまの思いに寄り添いながら苦痛を和らげ、より安楽に過ごせるようケアします。さらに、患者さまの入院と同時に、そのご家族も大きな不安やストレスを抱えるため、ご家族の思いに寄り添いケアしていくことも必要となります。

集中ケア認定看護師は、集中治療を受ける患者さまとご家族に対して、より水準の高い看護を実践すると共に、看護スタッフに対し指導、相談という役割を果たしていくことが求められています。これから一歩ずつその役割を果たしながら、よりよい看護につながるよう研鑽していききたいと思います。

岡根 利津

ご意見に お答え します!

Q 各診療科の受付の近くに電子掲示板が設置されておりますが、充分活用されていないと思います。特に次に診察される番号が出ていない患者にとつて最も有利がたい立派な掲示板がほしいです。

A 電子掲示板の順番表示は上から順に、診察中の方が1枠、中待合でお待ちの方3枠の案内表示となっております。最下段につきましては、診療科受付でお探している方の番号を表示いたしますのでよろしくお願い致します。

誌面でごくらくキッチン

〜春レシピ〜 そら豆にはビタミンB2 や亜鉛が豊富に含まれています。他にもでんぷん、タンパク質、脂肪などさまざまな栄養素も詰まっています。皮を食べない人も多いですが、皮ごと食べれば食物繊維も摂取できますよ。



※スペースの関係で誌面での紹介レシピは1品になります。

そら豆とえびの卵炒め

栄養量1人分 エネルギー/186kcal

材料 4人分

- そら豆 ----- 正味200g
- 大正えび(小) ----- 200g
- サラダ油 ----- 大さじ1
- 塩 ----- 小さじ1/3
- こしょう ----- 少々
- 鶏ガラスープの素 ----- 小さじ1/4
- 水 ----- 大さじ2
- 卵 ----- 3個



管理栄養士
仕田原 由里
(しだはらゆり)

- ①そら豆はさやから豆を出し、薄皮に切り込みを入れ、3分塩ゆでして水にとり、薄皮をむく。えびは尾をひと節残して殻をむき、背ワタをとる。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、えびを入れて半分くらい火が通るまで炒める。そら豆を加えてざっと混ぜ、Aを加えて調味する。
- ③溶きほぐした卵をまわし入れ、大きく1〜2回混ぜて火を止める。



当院ホームページで、その他のレシピをご覧ください。
http://www.miekosei.or.jp/2_sch/

アメリカン・スナイパー

2014年アメリカ 134分 監督:クリント・イーストウッド

「本当の戦争とはどんなものか」。従軍経験のある映画監督デビッド・エイヤーはこう答えた。「つらくて、怖い」。実在の狙撃手の視点からイラク戦争を映し出す本作も「つらくて、怖い」映画だ。愛する家族を残し自らの意志で赴いた戦場は狂気と恐怖が支配する世界。160人を射殺した実績から「伝説」と称賛する周囲に対し、彼は徐々に精神のバランスを崩していく。仲間を守りたいという思いから参加した戦争で彼が払った代償とは。ラストで提示される「事実」が心に重くのしかかる。「あなたはどう受け止めるか」そう問いかけるような無音のエンドロールは観客がこの実話から目を逸らすことを許さない。傑作という言葉がふさわしい「とっておき」の作品です。

